

4. 研究開発室 研究者

- ・ 藤川 和利 (ふじかわ かずとし)

附属図書館 研究開発室長,

情報科学研究科 准教授 (インターネット・アーキテクチャ講座)

インターネットを利用したさまざまなアプリケーションやシステムについての研究を行っている。主に、ネットワーク環境が変化する状況下でのマルチメディアデータ転送方式やネットワークゲームの実行方式の研究に取り組んできている。特に近年では、附属図書館研究開発室室長として、個人の嗜好や環境に応じたマルチメディアサービスプラットフォームの研究開発に従事している。

- ・ 砂原 秀樹 (すなはら ひでき)

情報科学研究科 教授 (インターネット・アーキテクチャ講座)

モバイル通信技術, センサネットワーク, 知識情報構成技術等を専門分野とし, インターネット上に分散した人間の行動, ネットワークセンサ, 自動車, 「物」が生成する情報から「知識」を構成することに興味を持つ。WIDEプロジェクトボードメンバーとしてJUNET及びWIDEプロジェクトを通して日本のインターネットの開発・運用・展開に尽力。インターネット自動車/Internet ITSの研究開発及び気象・環境センサーネットワークLive E!プロジェクトを主導する。

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授と兼任。

- ・ 山口 英 (やまぐち すぐる)

情報科学研究科 教授 (インターネット工学講座)

大規模分散処理環境構築, ネットワークセキュリティなどの研究を行なう。また, WIDE Project ボードメンバーとして, 広域コンピュータネットワークの構築・研究に従事する。1996年よりJPCERT/CC役員。2004年4月より内閣官房情報セキュリティ対策推進室(現内閣官房情報セキュリティ

イセンター) 情報セキュリティ補佐官として、政策面からも情報セキュリティ向上に尽力。

・ **楫 勇一 (かじ ゆういち)**

情報科学研究科 准教授 (情報基礎学講座)

情報を「護る」ための技術として、誤り制御方式および情報セキュリティについて研究を行っている。中でも次世代型の誤り訂正符号と目される LDPC 符号に関して、符号の構造解析、各種アルゴリズム開発等に取り組んでいる。また、情報セキュリティ分野では、グループ鍵や時間限定鍵等、各種暗号鍵の管理・運用技術の提案、暗号を用いたセキュアプロトコルの開発、センサネットワーク等、ユビキタス環境特有のセキュリティ課題の明確化と問題解決に注力している。

・ **寺田 直美 (てらだ なおみ)**

情報科学研究科 助教 (情報コミュニケーション講座)

大規模コンテンツ配信に関する技術および配信サーバ群の運用支援技術を専門とする。中でも動画配信に関する技術として、アクセス集中時の運用支援情報の抽出やサービス品質管理技術について研究を行っている。また、自律的に負荷分散を行う配信ネットワーク構築、分散システムにおける配信情報管理に取り組んでいる。

・ **樋山 寛章 (はげやま ひろあき)**

情報科学研究科 助教 (インターネット工学講座)

専門領域はインターネットにおけるトレースバック技術である。また、北陸先端科学技術大学院大学、情報通信研究機構と共同で模倣インターネットによる大規模実験環境構築技術の研究開発や、JGN2plus 大手町ネットワーク研究統括センターに客員研究員として参加し、仮想化技術を用いたテストベッド構築および次世代ホスティングサービスの研究開発を行っている。